

会議録

会議の名称	平成26年度 第5回西東京市文化芸術振興推進委員会
開催日時	平成27年3月24日（火曜日） 午後1時30分から2時まで
開催場所	コール田無2階 イベントルームB
出席者	委員：赤澤委員長、岸上委員、近辻委員、中平委員、西田委員、藤江委員、安井委員、山本委員 欠席：有賀副委員長、郷地委員 事務局：林文化振興係長、工藤文化振興係主査
議題	1 第4回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録について 2 計画中期の取組実施報告（「対話による美術鑑賞」事業他）について 3 平成27年度推進委員会検討事項及び文化芸術振興事業スケジュールについて 4 その他
会議資料の名称	1 第4回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録 2 計画中期の取組実施報告について 3 平成27年度推進委員会検討事項及び文化芸術振興事業スケジュール <参考資料> ・西東京市ホームページ2月アクセスランキング ・「対話による美術鑑賞」事業掲載記事 ・アートミーるロゴ決定案 ・アートミーる2期生募集チラシ（案）及び活動PRリーフレット（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>（開会）</p> <p>○委員長： 定足数と出席している委員を確認</p> <p>○事務局： 林係長より、今年度最後ということで簡単な挨拶。計画の施策・事業評価していただいたり、各委員専門分野でのご意見をいただいたりしたことに対するお礼。</p> <p>（配付資料について）</p> <p>○事務局： （参考資料として） アートミーる2期生募集チラシ（案）及び活動PRリーフレット（案）については、市内小学校全児童及び市内中学校全生徒に配布予定である。</p>	

○委員：

全児童と全生徒に配るということは、親を対象としているのか。

○事務局：

そのとおりである。

議題1 第5回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録について

・委員各位より承認された

○委員長：

議題2に入る前に、下野谷遺跡が国史跡として指定されたので、近辻委員よりご報告いただきたい。

○委員：

3月10日に官報の告示により指定された。今から約4千年前～5千年前の縄文時代中期の環状集落で、千年間と非常に長く続いた。

3月22日に東伏見STEP22で式典があり、市長も挨拶で、下野谷遺跡の国史跡指定は、まち興しにつながり、将来的には学校教育にもという話があった。

現在、エクラアニマルで下野谷遺跡のアニメーションを作成している。

記念講演の講師の話だと、下野谷遺跡が突然消滅した理由として、婚姻関係が狭く血が濃くなってしまったことが原因ではというような持論を述べていた。

西東京市も、文化財の保存・活用によりやく前向きに取り組み始めたと感じた。

○委員長：

下野谷遺跡は西東京市の貴重な財産なので、推進委員会でも見学させていただきたいと思う。

○事務局：

事務局としても、来年度の推進委員会で、下野谷遺跡に関する勉強会や現地ガイドツアーを実施できればと思っている。

議題2 計画中期の取組実施報告（「対話による美術鑑賞」事業他）について

・事務局から資料2に基づき説明

「実施プログラム1 講演会・勉強会の充実」

（伝統文化継承ドキュメンタリー映画「檜枝岐歌舞伎 やるべえや」上映会）

○事務局：

本日開催予定。計画にある地域の伝統文化とは何かを考えるきっかけづくりとすることを目的としており、安孫子監督のトークショーも予定している。また、安孫子監督は、西東京市と姉妹都市を締結している福島県下郷町に活動の拠点を置いており、下郷のふるさと大使となっている。

「実施プログラム2 「対話による美術鑑賞」事業の推進」

○事務局：

市民ボランティアレベルアップ研修は今年度11回目を実施。

小学校における「対話による美術鑑賞」事業は、今年度7校目の保谷第二小学校では共同通信社の取材があった。その記事が参考資料として用意した記事である。今年度最後8校目の住吉小学校は、児童が2クラスで48人と少なく、とても大人しい感じがした。児童が少ない学校特有かもしれないが、5年生に近いということで羞恥心が芽生えているとも考えられる。

来年度の「対話による美術鑑賞」体験会（研修会）については、アートミーる2期生募集に伴う体験会を4月23日、5月15日に、西東京市美術協会展における体験会は5月12日に、小学校図工部会における研修会は6月10日に実施。

「実施プログラム3 多摩六都フェア事業の推進」

○事務局：

「映画制作ワークショップ」上映発表会については満員御礼となったこともあり、3月1日に多摩六都科学館イベントホールで特別上映会を実施。また、J:COM西東京で放映も予定。

「実施プログラム4 文化ボランティアの育成」

○事務局：

会場係ボランティアについては、来年度引き続き募集し人数を増やして行きたいと思っており、活動人数についてはこもれびホールで上限人数を決めてもらった上で、その範囲内で活動希望者を募って行きたい。

また、会場係ボランティアをこもれびホール主催事業以外でも活用できる仕組みづくりをこもれびホールと調整して行きたい。

議題3 平成27年度推進委員会検討事項及び文化芸術振興事業スケジュールについて

（事務局から資料3に基づき説明）

○事務局：

来年度の推進委員会は6月からのスタートを予定しており、今年度に引き続き計画の施策・事業評価及び勉強会を実施していきたい。

主な文化芸術振興事業としては、アートミーる2期生を募集し、6月から毎月2回ぐらい研修をし、9月ぐらいから小学校での「対話による美術鑑賞」授業の1期生のサポートとして入ってもらう予定である。

小学校は14校での実施を予定しているので、アートミーる2期生の育成が急務の課題である。

多摩六都フェア事業も、今年度に引き続きテーマを決めてワークショップを実施していく予定である。

○委員：

施策・事業評価については、今年度大分端折った感じになってしまったと思うが、来年度はもう少しじっくりと取り組むべきでは。

○事務局：

事務局としても、タイトなスケジュールで委員の皆さんに施策・事業評価をしていただいたこと申し訳なく思っている。来年度は今年度より2か月早く推進委員会をスタートする予定なので、施策・事業評価にもっと時間をかけることができると思っている。また、PDCAのA（アクション）の部分も皆さんにお示しできればと思っている。

議題4 その他

○委員長：

この後、「檜枝岐歌舞伎 やるべえや」上映会が隣のイベントルームAで開催されるので、引き続きよろしくお願ひしたい。

（閉会）

以上